

西南学院大学・ 図書館報

No. 5 1

1971 年10月7日 発行

福岡市西新6丁目

西南学院大学図書館

秋夜雨を聞く

図書館長

清 田 正 喜



杜甫の「聞雨寒更尽・開門落葉深」という詩文中の「聞雨」をば、「雨ト聞キテ」と読むのか、「雨ヲ聞キテ」と読むのか。杜甫の歌う詩境を、どう読んで受けとめればよろしいのか。外国文学を鑑賞する場合には、こうした点によほど注意してかからねば誤訳もしかねないことになる。同じ東洋人で同種同文とはいっても、語序から異なっている中国語と日本語とでは、どだい文学表現の細かいニュアンスなどはわかつたはずもない。ましてや西欧文学においておやである。だから翻訳などに頼ろうとしないで、生のまま原典にぶつかるのが、いちばんよい方法ではあるが、それには相当の修業が必要であり、誰にでも多く望めるものではない。したがって翻訳には苦勞するのである。たとえば「古池や」の句を、

A Frog jumps into the old pond. /

Splash. / (ちゃぽん. / という水の音)

これでは芭蕉の「寂び」などとうてい理解できない。もう俳諧ではないからである。漢詩の場合も同様である。とくに和訳をする時には助詞ひとつの使い方の意味ががらりと変わってしまうからである。

「雨ト」とすれば、初めっから落葉する音と知っているのです、この詩境はまことに浅いものとな

ってしまう。「雨ヲ」と読んでこそ詩は生きてくる。板びさしの軒うつ雨音をまくらべに聞きながら、夜寒を感じて、眠りにはいった。翌朝、雨戸を開けると、庭一面に紅葉が深々と散りしいている。昨夜耳にした軒ばの音は雨ではなくて落葉であったのだ。「この時はじめておどろきてこそおもしろけれ」(徹書記物語)と正徹(室町時代の歌僧・歌学者)が述べている。このような鋭い鑑賞眼が詩には大切だということである。

彼が「されば歌もひとつものにあらぬものに聞ゆるなり」と言うのは、上つつらをなでるだけの、いわゆることばの言い替えにすぎないように解釈態度をしかと戒めているのである。

わたしは古典文学、たとえば源氏物語を講義する時、つねに王朝の背景を考えながら説明していくことを忘れない。しかるに無知な人はこれを好色軟文学と誤解し、はては講述する者をさえエロに見てしまう。そこに学ばない者の愚かさを自ら示している。あわれというよりはかはない。

文学がどんなにして発生してきたか。もう一度はじめから学問しなおすには、まず図書館に来てじっくり勉強すること、これが手始めであろうと思う。

告知板

○ 大学祭期間中の開館時間

11月19日(金)～22日(月)の大学祭期間中は、午後5時に閉館しますのでご承知ください。

○ 卒論特別貸出について

4年次生は卒業論文作成のための特別貸出をすることができます。通常の貸出のほかに3冊以内、期間は1か月です。希望者は受付まで申し出て下さい。

辞典の使いかたシリーズ *第2*

会 計 学 ・ 経 営 学 辞 典

助 教 授 高 田 駒 次 郎



図書館は、学生諸君の勉学のために大いに利用されているが、試験期になると、さらに満員になり、種々の書物が閲覧されている。なかでも一番多く利用されるのは、辞典であろう。そこで、辞典のなかで

も、商学部の学生諸君が主として検索利用しているものを、ここでは紹介することにする。

まず、会計学関係では、会計学に関するすべての領域を一定の体系のもとに総合したものとして、次のようなものがある。

○新会計学辞典（神戸大学会計学研究室編・同文館）

○会计学大辞典（太田哲三・佐藤孝一・番場嘉一郎監修・中央経済社）

○体系会计学辞典（木村重義編・ダイヤモンド社）

また、会計学の一分野としての原価計算辞典（中央経済社）や商学関係では体系証券辞典（東洋経済新報社）も有名である。

さらに、会計学の個々の分野別に編集したものとして、新版会計事典・管理会計事典・簿記事典・原価計算事典および会計監査事典（横浜国立大学会計学研究室編・同文館）があるが、比較的にわかりやすい文章で書かれており、小型で持ち運びも便利であるので、学生諸君は大いに利用されるようお勧めする。

そして、会計学を学ぶ場合は、企業会計原則・

原価計算基準や監督基準・商法・税法・証券取引法その他の諸法令にも精通する必要があるので、辞典とはいえないが、かかる会計諸基準や法令を網羅収録した会計全書（中央経済社）も大いに利用さるべきである。

次に、経営学関係では体系的なものとして、次のようなものがある。

○新版体系経営学辞典（高宮晋編集・ダイヤモンド社）

○経営学辞典（藻利重隆編集・東洋経済新報社）

また、小型のものとして経営学小辞典（山城章編・中央経済社）や経営学体系辞典（古川栄一・山田一郎編・第三出版）もある。

最後に、商学部の一・二年生は外書講読を受講しているが、専門用語については上述の各辞典の索引や、英和英経営経理辞典（企業経営協会編）が役立つであろう。

以上、紙数の関係上会計学・経営学関係の辞典名をあげるだけで、その内容にまでは及ばなかったが、一つ忠告しておきたいことは、辞典というものは一般的にできるだけその内容を要約してあるので、普通の専門書よりもわかりにくい点が多い。したがって、丸暗記しないで専門書と比較しながら理解するよう努めるべきであろう。



< ニュース >

図書館委員会

46. 5. 6 (議題) ①客員教授・助手Bの図書館利用について ②昭和46年度図書費配分案について
46. 7. 27 ①教職員利用規則一部改正案 ②図書館書庫の増築について

職員会

46. 6. 2 ①土曜日午後の勤務について ②図書館のあり方について ③昭和46年度図書費・雑誌費の取扱いについて ④勤務上の諸注意
46. 7. 7 ①超過勤務命令簿について ②大学院関係スケジュールについて ③閲覧用目録の整備について
46. 8. 20 ①文献複写の教職員セルフ・サービスについて ②書庫の増築に関する職員の希望について ③職員会のあり方について

司書会

46. 5. 6 ①昭和46年度図書費の取扱い
46. 6. 4 ①大学院経営学研究科に関する図書整理計画について ②総記図書費配分
46. 7. 9 ①複写機備付場所について ②書名目録

の整備方法

46. 9. 10 ①電算化計画について ②参考図書室設置案 ③土曜居残者の取扱い ④図書館報編集案

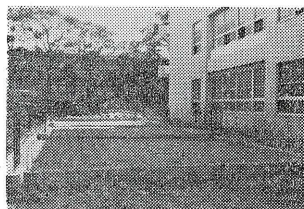
書庫の増築

短大と向い合わせに本部の建物が建築中ですが、それと平行して、図書館の東側に書庫が増築されています。

これは将来のため

に書庫の外郭だけを建築するもので、内装工事は行なわれません。その規模は、7層の積層式書庫で1層

の床面積は約 200㎡です。これが完成しますと、書庫だけで30万冊の図書を収容することができ、全館で60万冊の収容力となります。



人事異動

図書館長(再任)教授 清田正喜(46.7.1)

昭和46年度図書館委員

R. H. カルベッパ (神)、園井英秀 (英)、西島幸右 (仏)、福本保信 (教)、徳永正二郎 (商)、時政易 (経)、中森宏 (法)、森川和子 (短)

大学図書館研究集会に参加して

最近の図書館界の動き

司書 広津 義純



7月初旬群馬の草津温泉で開かれた私大連盟の大学図書館研究集会に参加して感じたことを二、三記してみたいと思います。

まず九州からの参加館は、場所が遠いということもあってか、当館だけでした。今年のこの研究集会のテーマは、「大学図書館の

使命と日常業務の反省」ということでしたが、討議の中心はアメリカの図書館界の実情の研究、報告に終始したようでした。といってもわが国ではまだアメリカの図書館を考えないで、そこから脱皮し得る自信がないのが現状でしょう。なんといっても、予算面の違いが日本にお

ける図書館の近代化を遅らせている原因のようです。

また九州の図書館界は東京方面と比べて、図書館近代化への施策がかなり遅れているようです。特に図書館というところは、何事に

つけ新しい試みを企てるのに、ちゅうちょし、消極的になる傾向が強いようです。それ故画期的な図書館近代化への計画は、自館一館のみで企てるのには、たいへんな決断を必要とするでしょう。それでわが国においてはアメリカの実情を、本館においてはアメリカと日本における図書館近代化に積極的に取り組んでいる他館の実情を、調査、研究し、最も本館においてマッチした近代化への道を模索しているのが現状です。

九州の図書館界が東地区と比べて図書館近代化への道、特に機械化導入の面において遅れているといっても、まだ他館とも機械化導入の問題については試行錯誤の状態ですので、その中から最も自館に適した導入法を考える余裕があると感じました。

昭和45年度 図書館統計

▶ どんな内容の本がどれだけ増加したか

区分	分類	総記	哲学	歴史	社会科学	自然科学	工学	産業	芸術	語学	文学	計
和		1.023	1.067	657	7.288	1.022	451	861	581	279	1.470	14.699
洋		81	816	498	7.208	180	63	142	81	371	2.460	11.900
計		1.104	1.883	1.155	14.496	1.202	514	1.003	662	650	3.930	26.599
前年度		1.655	1.369	904	8.449	915	344	1.290	400	962	3.057	19.341

※ 昭和45年度の受入図書の急激な増加は、法学部の大学院申請用図書の購入の影響もあるものと思われます。

▶ それではこの一年間図書館はどれだけ利用されたか

○ 昭和45年度入館者数 (学生)

学部別	年度	学 習 室		開 架 閱 覧 室	
		45年度	前年度	45年度	前年度
神 学 部			8	45	53
文 学 部			16.782	23.652	26.993
商 学 部			21.918	30.322	31.635
経 済 学 部			16.708	27.221	27.416
法 学 部			12.617	28.783	20.207
短 期 大 学 部			1.066	3.043	3.583
そ の 他			70	95	173
計		106.277	70.774	115.076	111.907

○ 昭和45年度館外貸出人員 (学生)

学部別	年度	45年度	前年度
神 学 部		15	28
文 学 部		6.310	7.825
商 学 部		7.284	8.553
経 済 学 部		6.690	7.911
法 学 部		7.099	5.293
短 期 大 学 部		1.429	1.795
そ の 他		63	82
計		30.806	33.331

○ 昭和45年度館外貸出図書冊数 (学生)

分類別	年度	45年度	前年度
0 総 記		704	772
1 哲 学		4.053	4.722
2 歴 史		1.917	1.506
3 社 会 科 学		19.223	18.899
4 自 然 科 学		1.320	1.204
5 工 学		357	456
6 産 業		3.168	3.470
7 芸 術		1.416	1.785
8 語 学		1.255	1.233
9 文 学		9.364	10.116
雑 誌		580	625
計		43.357	44.788

~~~~~ 奉仕係より ~~~~~

前期試験も終り、学生の皆さんはほっと一息ついておられると思います。試験期になると参考書探しやまた勉強などで、連日の超満



員、奉仕係では急に大盛況となり大奮斗をしましたが、なにぶん人員不足で皆さんに十分な指導と手助けもできずたいへんご迷惑をかけたことと思います。

いよいよこれからスポーツの秋、読書の秋(女性の方は食欲の秋かな、これは失言)に文学書に親しむのもよいことです。日本文学全集、各外国文学全集、その他いろいろと在庫しています。ぜひご一読されるのをおすすめします。

(田中進)

自 昭和46年2月 ～ 至 昭和46年5月

(敬 称 略)

防衛庁より 日本の安全保障 1970年版

文化庁より 明治以降宗教制度百年史

ビジネス教育出版社より 現代企業診断全集 第

1巻 中小企業とコンサルティング

地域社会研究所より 恒心会員の歩み

地質調査所より 地質文献目録 1964

中小企業金融公庫調査部より 設備投資動向調査
報告 昭和45年度計画額

中小企業退職金共済事業団より 第11回事業年報
昭和44年度

エンサイクロペディア・ブリタニカ日本支社より
未来への課題

福岡銀行より 中原嘉左右日記 第1巻・第2巻

福岡県より 昭和43年福岡県統計年鑑 他2冊

福岡市より 福岡市議会史 第1巻 明治編
他3冊

福岡ユネスコ協会より FUKUOKA UNESCO
第6号

一橋大学経済研究所より 蔵書目録 昭和44年度

北海道立図書館より 蔵書目録 第3分冊 社会
科学

法務省刑事局青年課より 青年層

出光計助氏より 農耕儀礼の研究

石井記念友愛社より 石井十次日誌 明治十八年

石本岩根教授より ドイツ語四週間

自由民主党より 第64臨時国会成立公害関係法律
とその解説

住宅金融公庫より 住宅金融公庫20年史

香川大学附属図書館より 香川大学雑誌目録
1970

香川栄養学園より 女子栄養大学・女子栄養短期
大学・香川栄養学校要覧

会計検査院より 国の決算と検査 昭和46年版

神奈川県より 神奈川県勢要覧 昭和45年版
(他1冊)

花王石鹼株式会社より 花王石鹼八十年史

霞ヶ関出版社より ロシア

片桐喜代氏より 聖書管見

河越保男氏より 大英和辞典 他15冊

経済企画協会より 機械受注統計調査年報 昭和
44年版

金融財政事情研究会より 銀行局金融年報 別冊
銀行局現行通達集 昭和43年版

木村毅教授より キリスト教の精神とその運命
他2冊

北九州財務局より 北九州地方財政経済統計年報
昭和45年版 他1冊

国学院大学図書館より 嗚呼特殊潜航艇

国民文化研究会より 続日本精神史鈔

国立国会図書館より 国立国会図書館蔵書目録
第2編 社会科学(下) 昭和34—43年

国立教育研究所より 国立教育研究所紀要
第78集

甲南学園より 甲南学園50年史 及図録

熊本大学英文学会より 熊本大学英語英文学
第十三・四合併号

熊本市より 熊本市統計書 昭和45年版

京都府労働経済研究所より 労研資料報 No2

京都商工会議所より 京都府下企業の職務職能給
導入状況 昭和46年1月 他1冊

松田公章氏より 恐慌論体系序説

文部省より ヨーロッパの大学改革

中山端二氏より 日本と世界の歴史 第9巻

日本大学法学研究所より 日本大学法学部創立八
十周年記念論文集

日本比較法研究所より 家事審判制度の研究

日本放送協会より NHK放送文化研究年報
昭和40年版～45年版

日本勧業銀行より 経営戦略読本

日本経営者団体連盟より 転機をむかえた賃金問
題と日本経済

日本国有鉄道より 雑誌記事索引 交通・鉄道関
係 昭和44年版

日本生命より 保険年鑑 昭和44年度

日本石油より 石油統計表 昭和45年版

日本写真機工業会より 戦後日本カメラ発達史

大蔵省証券局より 公認会計士試験問題集 昭和

41・42年

大阪府中小企業団体中央会より 中小企業労働事情実態調査報告書 昭和45年度 他1冊

大阪府企画部より 大阪府学校法人名簿 昭和45年10月

大阪府立貿易館より 八十年の歩み

大阪府立産業能率研究所より 産業能率論集

No. 4

大阪府立商工経済研究所より 府下中小工業の国際間競争の諸問題と実態 その1 総説 他1冊
「歴史の研究」刊行会より 歴史の研究 第13巻 第15巻

佐賀県より 佐賀県勢要覧 昭和45年版 他1冊

三康文化研究所より 三康図書館蔵書目録

成城大学経済学会より 成城大学経済学部創立20周年記念論文集

生命保険文化研究所より 西ドイツ生命保険の現況 1969年末

西南学院同窓会より 西南学院同窓会名簿

石油化学工業協会より 石油化学工業10年史

島内龍起氏より 共同抵当論

総理府統計局より 事業所統計調査報告 第1巻 全国編 他1冊

竹田節子氏より 悪の哲学 他57冊

短歌研究所より 系譜別現代歌壇総覧

鉄鋼新聞社より 鉄鋼二次製品年鑑 昭和45年版

天理図書館より 天理図書館図書分類目録 第2編 哲学・宗教

東京学芸大学附属図書館より 東京学芸大学蔵書目録 第1分冊

東京生命保険より 東京生命保険七十年史

東京都より 第21回東京都統計年鑑 昭和44年

和歌山県より 和歌山県統計年鑑 昭和45年

横浜市立大学経済研究所より 産業構造の変動と都市問題

湯浅金物株式会社より 三百年ののれん

郵政省より 郵政百年のあゆみ

輸出繊維統計協会より 繊維輸出統計年表 1970

全国珠算教育連盟より 福岡県の算学者と算額 他8冊

全国相互銀行協会より 相互銀行史

